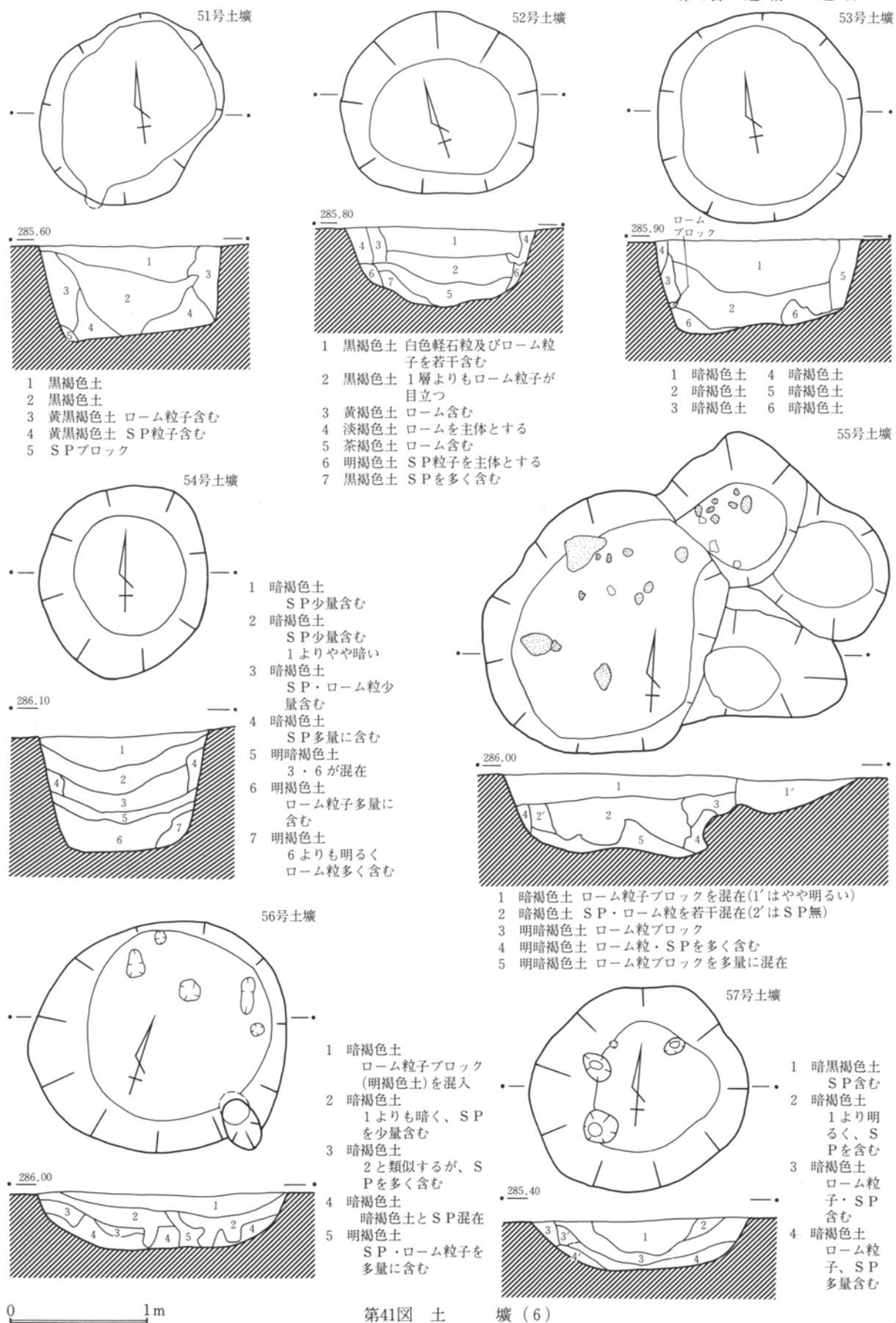


第4節 遺構と遺物



第Ⅰ章 三原田城遺跡

31号土壙 30号土壙の南、35—B 12グリッドに位置する。平面形はほぼ円形を呈すと思われ、底面は狭くなる。東側部分を耕作溝によって切られている。規模は73×(50)、深さ(42)cmである。出土遺物は無い。

32号土壙 34～35—B 11グリッドに位置する。平面形はほぼ円形を呈し、掘り込みも垂直に近い。底は平らである。規模は117×126、深さ67cm。覆土下層に若干の炭化物を含んでいた。出土遺物は土器片5点、石錐2点が出土している。

33号土壙 37～38—B 9～10グリッド、3号住居址の北側に近接する。平面形はやや南北に長い長円形で掘り込みは浅い。規模は203×185、深さ17cmである。中央に出土した自然礫2個の他、土器片7点、打製石斧1、石鎌1、磨石2点が出土している。

34号土壙 36—B 10～11グリッドに位置する。平面形はほぼ円形を呈し、規模は100×96、深さ22cmである。底は凹凸があり、掘り込み面も不明瞭であった。出土遺物は無い。

35号土壙 38～39—B 27グリッドに位置する。16号土壙の西に近接、北側上面を近世の溝によって削られている。平面形はやや長円形を呈すと思われる。断面はフラスコ状を呈し、底は平らである。規模は125×110、深さ50cm、底面の径は135×120である。出土遺物は自然礫1個が底より出土していた他は無い。

36号土壙 48～49—B 20～21グリッド、調査区西壁に約半分掛かって検出した。北側半分を1号溝によって削られている。規模は径160cm、深さ90cmと推定され、断面形はやや底が狭くなる。出土遺物は見られ無い。

37号土壙 1号住居址の北に近接、36—B 25～26グリッドに位置する。ほぼ円形を呈し、掘り込みも垂直である。底面形は円形で平らである。上端は崩落によりやや広がっている。規模は175×155、深さ59cmである。出土遺物は、覆土上部より口縁、底部を欠いた深鉢の他、破片およびスクレイパー1点が出土。

43号土壙 31～32—B 31～32グリッドに位置する。南北約1/3程を、ゴミ穴によって削られている。形状は不正長円形を呈し、壁はかなりの急角度で掘り込まれている。北側中段に横穴が見られる。規模は243×(155)、深さ86cmである。出土遺物は覆土中位より下位にかけて、土器片7点、石鎌2点、石匙1点、磨石1点が出土している。

44号土壙 14～15—B 23～24グリッドに位置する。南側上部を1号墳の周堀によって斜めに削られている。平面形は長円形で底面形も同様である。規模は145×143、深さ120cmである。壁の掘り込みは垂直に近く、底は平らである。出土遺物は無い。

50号土壙 8号、9号住居址の間、16—B 00グリッドに位置する。形状はほぼ円形を呈し、底面形は隅丸方形を呈す。掘り込みは西側が直で東側はやや緩やかである。規模は148×143、深さ48cmである。出土遺物は無かった。

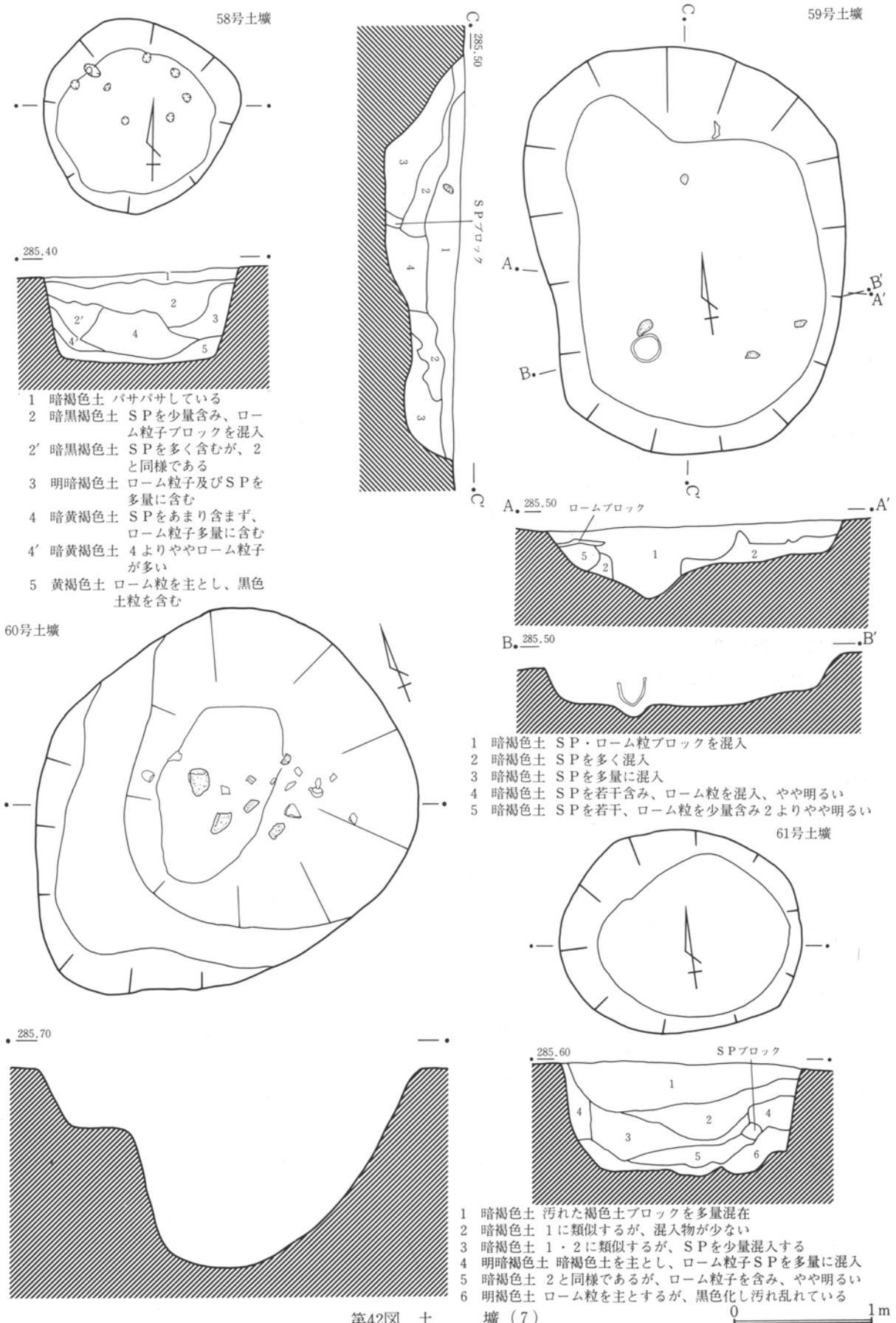
51号土壙 13～14—A 49～B 00グリッド。9号住居址の南側に近接している。平面形はほぼ円形で、掘り込みも垂直に近い、底は平らである。規模は135×132、深さ64cmである。出土遺物は土器片約20片と、石匙が1点出土している。

52号土壙 9号住居址の東に近接。12～13—B 01グリッドに位置する。平面形はほぼ円形を呈し、断面は鍋底状となる。底は中央部分がやや凹む。規模は145×130、深さ56cm。出土遺物は無い。

53号土壙 12～13—B 02～03グリッド、9号と10号住居址に狭まれて位置する。円形で、掘り込みは垂直に近い。底は比較的平らである。出土遺物は、打製石斧が1点出土している。

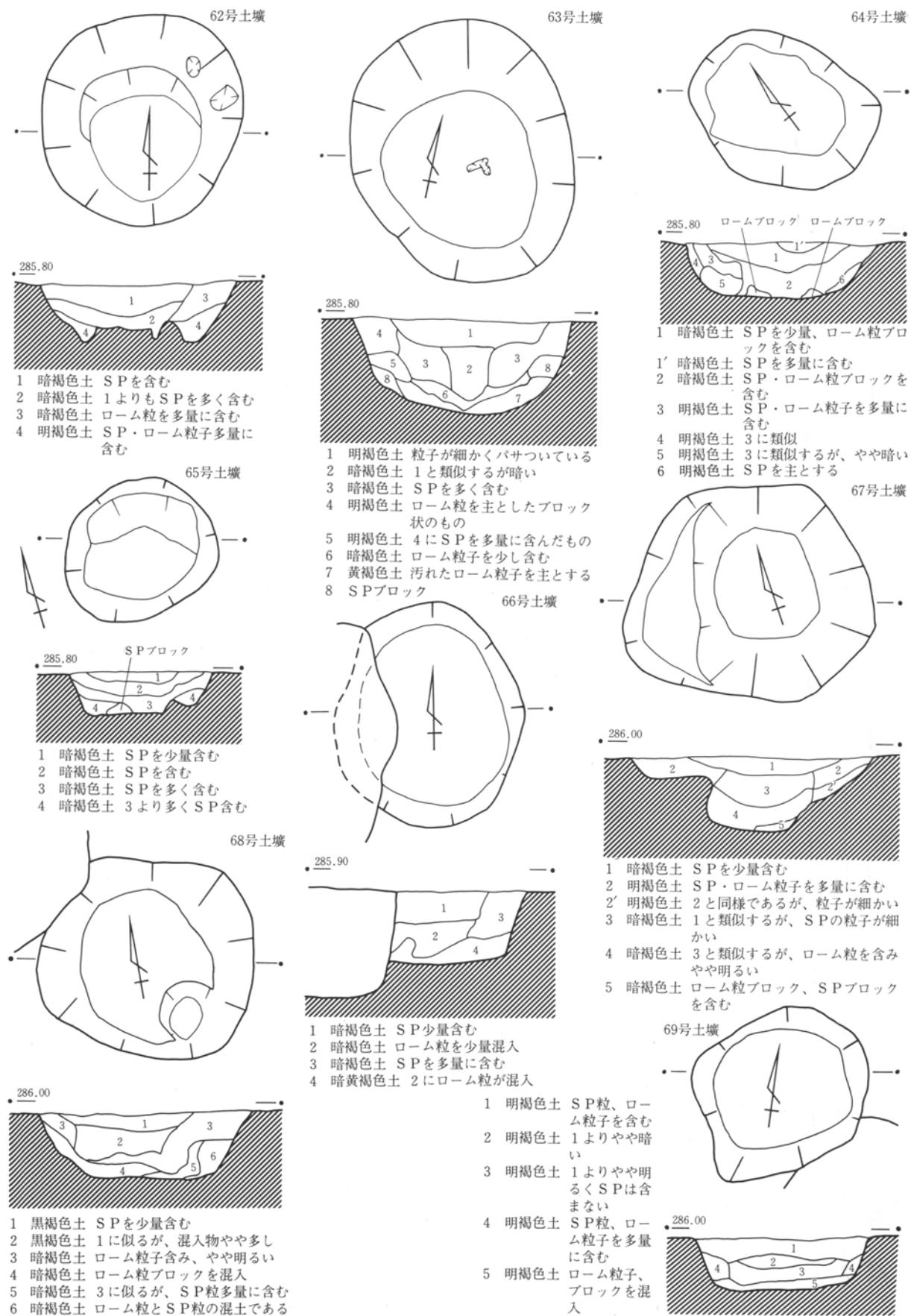
54号土壙 10号住居址の北側に近接。11—B 04～05グリッドに位置する。規模は148×128、深さ83cmである。やや長円形を呈し、掘り込みは垂直に近く、底は平らである。出土遺物は、土器7片、と石皿の破片が1点出土している。

第4節 遺構と遺物



第42図 土 墓 (7)

第Ⅰ章 三原田城遺跡



第43図 土 壤 (8)